

企画部会の取組

ウッド・チェンジアクション推進会議の活動方針

ウッド・チェンジの目的

- ・ 森林資源を循環利用し、森林の多面的機能を最大限に発揮させる。
- ・ 「木の文化都市」として人や投資を呼び込み、活力あるまちをつくる。



推進会議の目的

- ・ 民間建築物等における木材利用の機運醸成
- ・ 木材を利用しやすい環境づくり



目指す木材利用

- ・ 利用量の確保（市内産、府内産、その他国産の優先順位で）
- ・ 都市の総合的な価値の向上につながる質の高い使い方
- ・ 市民・企業等へ木の魅力や木材利用の必要性を伝える効果的な使い方

用途別のターゲット

		住宅	非住宅
建築物	木造	・ 市内の設計事務所や工務店等が建築する戸建て住宅 市内産材の特性を考慮し、地域の設計事務所、工務店、プレカット製材所等において市内産材KTS材を活用するためのサプライチェーンの強化、啓発活動を促進	・ 中規模建築物の木造化 耐火や構造への対応が比較的容易な建築物（特にS造が採用されていた）の木造化 ・ 木材利用促進のP R効果の高いプロジェクト 木材利用のP R効果を見込むことができる建築プロジェクトの木造化
	木質化	・ 市内の設計事務所や工務店等が建築する住宅 事業者が施主へ提案するためのツールや見本などの整備	・ 店舗やオフィスなど 客単価の増加、生産性の向上などの木質化によるメリットの周知
その他 (機運の醸成)		・ 一般市民、事業者等に関する木材利用の普及啓発 木材利用の意義や目的の周知を図るため、一般向けのイベント等での木材利用の普及啓発。 ・ 事業者等による利用 事業所での木製品の導入やイベント等での木材利用の啓発	

活動体制と活動内容

全体会議

ウッド・チェンジの推進に有益な情報の収集・共有、会員への周知等による発信、**個別課題の成果の周知※**

木材サプライチェーンの強化

木材の魅力発信

木材利用のメリット検討

企画部会 1

1 目的

利用者が求める市内産木材の供給力向上に向け、住宅用木材サプライチェーンを強化する。

2 取組内容

市内産木材を多く利用した住宅設計の冊子を使った普及啓発と、非住宅中規模建築物の木造化に向けた検討及び技術者への技術支援

3 メンバー

- ・設計（京都府建築士事務所協会、京都府建築士会）
- ・建築（京都府建築工業協同組合）
- ・木材供給（京都府木材組合連合会、京都木材協同組合、京都市域産材供給協会）
- ・京都市

企画部会 2

1 目的

家庭や企業のオフィス等、身近に木を取り入れてもらえるよう、木の魅力や利用方法を広範かつ多彩に発信する。

2 取組内容

事業者等へ木の良さを発信するとともに、京の木製品の素晴らしさを広く発信する。

3 メンバー

- ・京都銀行
- ・京都市住宅供給公社（京安心すまいセンター）
- ・京都木材協同組合
- ・京都市

企画部会 3

1 目的

企業や個人が木材利用に取り組む動機付けとなる仕組みを構築する。

2 取組内容

森林Jクレジットの創出について検討し、従来の利用価値に加え、新たな価値の付与を検討する。

3 メンバー

- ・(株)三菱UFJ銀行、三菱UFJリサーチ & コンサルティング(株)
- ・全日本不動産協会京都府本部
- ・京都府宅地建物取引業協会
- ・京都木材協同組合
- ・京都市

※企画部会は個別課題の企画・検討を実施し、成果の周知や実現は全員で取り組む。

企画部会 1 木材のサプライチェーンの強化

伐採現場・市場・製材所等の見学会と意見交換会の開催

開催概要：木材の伐採現場から原木市場、製材所等で建築物の木造・木質化に関する知識や木材流通の仕組み等の習得を目的とした見学会を開催し、市民に幅広く参加を募り、市内産材の利用を促進するための意見交換会を実施する。

日 時：令和8年9月4日(金)

参加者数：約20名(募集)

見学箇所：市場・製材所等(坂矢木材(株))
伐採現場(日吉町)
日吉町森林組合
原木市場(北桑木材センター)
京北森林組合倉庫など



京都産木材利用促進のための講習会

実施概要

- ・京都の木(スギ)を梁に使用する住宅モデルプランを作成。また、梁のサイズやコストをベイマツの時と比較して、スギを横架材(梁)で使うことのメリットを確認した冊子(R6から更新)を活用し、意匠設計者・構造設計者を対象とした講習会を開催する。

講習会の開催

開催概要

- ・京都産材を使うモデルプランの冊子を使用した講習会
- ・対象は、意匠設計者、構造設計者

日 時：令和9年1月頃(2回)

参加者：約60名/回(募集)

企画部会 1 木材のサプライチェーンの強化

非住宅中規模建築物の木造化講習会

実施概要

- ・ウッド ハブ合同会社の實成氏をコンサルタントに招聘し、非住宅中規模建築物の木造化を広めることを目標に、建築士・工務店や金融関係者を対象とした、講習会を実施する。従来S造で設計する非住宅中規模建築物を木造化することによる、コストメリットや木質効果を解説し、具体的なケーススタディ事例を紹介。

講習会の開催

開催概要

- ・「（講演）中規模木造建築のすすめ」、ケーススタディ事例の紹介
日 時：令和9年1月頃（2回）
参加者：約60名/回（募集）



非住宅中規模建築物の木造化

実施概要

- ・ウッド ハブ合同会社の實成氏と協働し、非住宅中規模建築物の木造化案件を実現させるため、案件の掘起こしを実施及びモデル事例を蓄積することと、京都市内の意匠・構造設計者のリスキリングに繋げる。

新規案件の調査とケーススタディ

- ・非住宅中規模建築物の木造化PJ
日 時：令和9年3月頃まで
参加者：ウッドハブ合同会社 實成氏、京都府すまいづくり協議会、京都市内の構造設計者

企画部会 2 木材の魅力発信

地域産木材を活用した木製品を使った魅力発信

実施概要

京都銀行、京都木材協同組合（ホリモク株）、京安心住まいセンターと京都市農林振興室で、部会2「木材の魅力発信」として、より効果的に京都の木材の魅力をインバウンド観光客や日本全国に訴求できるよう方策を検討している。

発信方法

今年度は、効果的な発信方法、広報コンテンツ、協力施設や協力事業者などを調査や打診をして、あらたな発信方法を見出すことを目標にしている。インバウンド向けツアー会社との協働や、宿泊施設などでの「京の木製品認証制度受賞作品」展示、京町家の簡易宿所改修時の木材利用打診など、木材の魅力を発信に繋げられるよう計画している。

<検討案>

- ・ 観光MICE補助制度「宿泊施設の質の向上（受入環境充実）支援事業補助金」（地域産木材）①4月～5月、②7月、の活用促進・周知と併せて、インバウンド宿泊者を対象とした「木材の魅力発信」ツアーの企画
- ・ 京安心住まいセンターが窓口である木造建築物の耐震改修の相談に関して「旅館・簡易宿所」へ市内産木材の利用や木製品導入の呼びかけ
- ・ 宿泊施設での京の木製品の展示販売 → 柊家「絹の間」特別展示
- ・ 一般市民、学生などに向けた木製品工場の見学ツアーの企画